

## 血液内科

### ■ スタッフ

科長		片山 直之
副科長		榎屋 正浩
医師数	常 勤	12 名
	併 任	5 名
	非常勤	4 名

### ■ 診療科の特色・診療対象疾患

#### 1. 治療方針

血液内科では、あらゆる血液疾患に対する診断と治療を行っています。治療方針に関しては、標準治療法はもとより科学的根拠に基づく最新の治療法にいたるまで患者さんとよく相談し、個々の患者さんの病状に応じた最善の治療を提供できるよう心がけています。また血液疾患の診断、治療に関する研究を行い、その成果を三重県内外の患者さんに還元できるよう努めています。

外来診療では、月、火、水、金曜日には初診外来を開設し、再診外来は毎日開設しています。他医療機関および院内の他診療科からの紹介されました患者さんに対しましては、中央診療部門ならびに他の診療科と連携して、短時間での診断および治療方針の決定に努めています。

入院診療では、11階北病棟で18床の県内最大のクリーンフロアを運用しており、クリーンフロアには、6室（16床）の準無菌治療室および2室（各1床）の無菌治療室を備えており、無菌管理を必要とする化学療法や造血幹細胞移植を行っています。また11階北病棟の一般病室も運用しており、クリーンフロアと合わせて25名ほどの患者さんの入院診療を行っています。11階は病棟としては最上階であり、各病室から伊勢湾や鈴鹿山系の山々を一望できるなど、快適性も備えています。また患者さんが安心して治療に専念できるよう、スタッフ一同協力して、患者さんやご家族のサポートを心がけています。

#### 2. 主な診療対象疾患

##### 幹細胞・白血病分野

白血病（急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病）や骨髄不全症候群、骨髄異形成症候群、骨髄増殖性腫瘍の診断・治療を行っています。

##### リンパ系腫瘍分野

悪性リンパ腫および多発性骨髄腫を中心とし、原発性アミロイドーシス、その他良性のリンパ増殖性疾患の診療を行っています。

##### 血栓・止血分野

輸血部、中央検査部、オーダーメイド医療部、他の診療科などのスタッフと定期的にカンファレンスを行い、協力して血栓・止血異常症の診療を行っています。

##### HIV感染症・AIDS

HIV感染症治療においては、中核拠点病院として、多職種で協力して診療を行っています。

### ■ 当科スタッフの取得専門医

日本内科学会専門医・指導医、日本血液学会専門医・指導医、がん薬物療法専門医など

### ■ 診療体制と実績

2017年4月1日から2018年3月31日集計では、外来診療の患者数は延べ8,798人、初診患者数は235人でした。入院診療は延べ患者数は8,902人、入院件数（2回目以降を含む）は214件でした。入院診療における疾患の内訳は次の表の通りです。

2017年 血液内科入院患者内訳（2例以上）

病名	新患	合計
悪性リンパ腫	18	35
形質細胞腫瘍(骨髄腫)	3	15
急性骨髄性白血病	5	8
造血幹細胞移植関連合併症	-	7
急性リンパ性白血病	6	6
慢性骨髄性白血病	2	3
骨髄異形成症候群	2	3
再生不良性貧血	1	3
HIV感染症	1	3
骨髄線維症	1	2
慢性リンパ性白血病	1	2
特発性血小板減少性紫斑病	1	2
成人T細胞性白血病・リンパ腫	0	2

### 造血幹細胞ドナー

骨髄バンクドナー	8
血縁者ドナー	4

## ■ 診療内容の特色と治療実績

造血器腫瘍、骨髄不全症候群に対する化学療法、分子標的療法、分化誘導療法、抗体療法、免疫抑制療法、放射線治療

患者さんの病状に応じて、これらの治療法を組み合わせることで最適な治療を行います。

白血病やリンパ腫に対するより良い治療を開発するための臨床研究

日本成人白血病研究グループ (JALSG)、日本臨床腫瘍研究グループ (JCOG) 等に参加して、より良い治療法を開発するために、全国規模の臨床研究を行っています。

造血器腫瘍および骨髄不全症候群に対する造血幹細胞移植

骨髄移植、末梢血幹細胞移植、臍帯血移植のいずれにも対応し、骨髄非破壊的前処置を用いた移植など、病態と全身状態に応じた移植法の最適化を目指しています。2017年の移植件数は下記のとおりです。

血縁者間造血幹細胞移植	6件
非血縁者間造血幹細胞移植	8件
臍帯血移植	5件
自家造血幹細胞移植	5件

当院は三重県における造血幹細胞移植の実施拠点となっており、名古屋BMTグループ (NBMTG)、日本細胞移植研究会 (JSCT) に参加し、臨床研究も行っています。

骨髄増殖性腫瘍における遺伝子検査

*JAK2V617F*、*JAK2* exon 12、*CALR*、*MPL*変異解析をオーダーメイド医療部の協力を得て院内で行っています。

播種性血管内凝固症候群・血栓性血小板減少性紫斑病・特発性血小板減少性紫斑病など血栓・出血性疾患の診断と治療

血栓性素因 (プロテインC・プロテインS・アンチトロンビン欠乏症・抗リン脂質抗体など) の診断、血栓症予防および治療

血友病の在宅注射指導と包括医療

小児科・整形外科などの診療科と連携して、在宅注射の指導を行っています。

いずれの分野の疾患においても、個々の患者さんに最善の医療が提供できるよう、三重県内全域にわたる関連病院の医師と連携して、診療をおこなっています。

セカンドオピニオン相談も受け付けておりますので、ご希望の場合は、当院の医療福祉支援センターにご連絡の上、セカンドオピニオン相談予約をおとりください。

## ■ 臨床研究等の実績

2017年 臨床研究登録実績

- 未治療低腫瘍量進行期濾胞性リンパ腫に対するリツキシマブ療法早期介入に関するランダム化比較第Ⅲ相試験 (JCOG1411) : 3例
- Interim PET に基づく初発進行期ホジキンリンパ腫に対する ABVD 療法および ABVD/増量 BEACOPP 療法の非ランダム化検証的試験 (JCOG1305) : 1例

<http://www.hosp.mie-u.ac.jp/> (ホームページ)